

全国（6年）岡山県（3・4・5年） 学力・学習状況調査の結果について



4月に実施した全国及び岡山県学力・学習状況調査を分析し、本校の各学年の傾向が次のようになりました。これらの課題を踏まえて、引き続き授業改善に努め、本校児童の学力向上を図っていきたいと考えています。

【各学年の傾向】

＜記号＞ 全国・県平均と比べ ○…よくできている ▲…もう少し

	国語	算数
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○第2学年に担当されている漢字を正しく書いている。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 ▲情報と情報との関係について理解し、文章の中の重要な語を考えて選び出すことが苦手。 ▲語と語や文と文との続き方に注意しながら、文章を書くことが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の相対的な大きさについて理解している。 ○1桁+2桁=2桁（繰り上がり有り）の計算ができる。 ▲加法の結合法則を用いて、考え方に合うように式に括弧を書くことが苦手。 ▲長方形を並べてできた四角形が、正方形になる理由を言葉で説明することが苦手。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ○第3学年に担当されている漢字を正しく書いている。 ○様子や行動を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ▲話し手が伝えたいことの中心を捉えることが苦手。 ▲情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約することが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。 ○正三角形を作図することができる。 ▲□を使って乗法の式に表したり、□を使った文章問題を表した図の構造を捉えることが苦手。 ▲m（ミリ）が付いた単位を1000倍するとm（ミリ）がとれることを説明することが苦手。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ○司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめている。 ○内容の中心を明確にし、自分の考えを伝える文章を書いている。 ▲話し手が伝えたいことの中心を捉えることが苦手。 ▲ことわざの意味を知り、正しく使うことが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○帯分数+真分数=帯分数（繰り上がり有り）の同分母分数の計算ができる。 ○直方体のある辺に平行な辺を理解している。 ▲概数に対応する数の範囲を理解するのが苦手。 ▲2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べることが苦手。
児童 質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○家で自分で計画を立てて勉強をしている。 ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 ▲自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫する。 ▲PC・タブレットなどのICT機器を使って学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。 ○目的を意識して、中心となる話や文を見付けて要約することができている。 ▲図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが苦手。 ▲必要なことを質問しながら聞き話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。 ○示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述することができている。 ▲台形の意味や性質について理解することが苦手。 ▲二次元の表から、条件に合う数を読み取ることが苦手。
児童 質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。 ○家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 ○人が困っているときは、進んで助けている。 ▲毎日、同じ時間に起きる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で学んだことを、他の学習に活かしている。 ○学校に行くのは楽しい。他（平均より20分/日以上） ▲新聞を読んでいる。

（注） ○と▲の項目は、各学年の上位2項目を記載しています。

※ 学年によって多少のばらつきはありましたが、学校全体としては、ほぼ全国・県平均でした。ご家庭でも、先日配布した個人票を参考にされ、お子様の得意なところ、苦手なところをしっかりとご確認いただき、今後の学習や生活に生かしてください。よろしくお願いいたします。

【今城小での取組】

《今城小学校 学校教育目標》

『自ら学び 心豊かに たくましく 生きる 今城っ子』の育成
～輝く瞳の今城っ子をめざして～

《指導の重点》

1 確かな学力の育成

2 豊かな心の育成

3 健やかな体の育成

この調査で得た傾向を踏まえ、今城小学校の指導の重点に照らし合わせ今後の取組をまとめました。

1 確かな学力の育成 (①授業)

＜授業改善；教科全般＞

3つのキーワードをポイントにおき、授業改善を図っていく。

- ・キーワード① 「自分の考え」
 - どの教科でも、まずは「自分の考え」をもつことができるように工夫する。
 - 一単位時間ごとの「めあて」を、子どもたちとどのように決めていくかを工夫する。
- ・キーワード② 「書く」「まとめる」
 - 自分の考えを書く活動を取り入れるようにする。(時には、条件を付けて)
 - 書きっぱなしではなく、必ず読み返す活動を取り入れるようにする。
- ・キーワード③ 「聞く」
 - 意図をもって聞く活動を取り入れるようにする。(同じ？違う？主旨は？など)
 - 聞いた話を広げる活動を取り入れるようにする。(質問・付け足し・よい点など)

次の活動を意図的に取り入れながら、授業展開を図っていく。

＜国語科＞

- ・文書を読んで自分の考えを書き表す活動
- ・条件付き(文字数や内容など)の作文
- ・説明文から「問い」と「答え」を見付ける活動
- ・敬語(尊敬語・謙譲語)を使った活動
- ・同音異義語の漢字を書く活動(漢字検定等)

＜算数科＞

- ・具体物や図、言葉、式などを算数用語を使いながら、結び付けて説明する活動
- ・問題文を読んで、数量関係を図に表すなどの活動
- ・図形の定義や性質を求める活動
- ・思考過程が明確化できる活動(計算・図形・割合)

1 " (②朝の学習)

登校後の8時20分から8時35分の15分間を使って、授業で行った学習の補充や繰り返しの練習を行い、基礎・基本の確実な定着を図る。(読書量の確保、ドリル学習、ICT機器を活用した「自律的学習者」の育成等)

1 " (③ICT機器の活用+家庭学習の充実)

ICTを活用する場面をさらに増やし、教え込む授業から主体的に学ぶ授業への転換(授業改善)を図る。多様な学び方を自覚的に習得しながら深い学びに向かっていく「自律的学習者」を育成する。また、家庭での学習環境づくりを支援するとともに、ICT機器を持ち帰っての新たな取組を実践していく。

2 豊かな心の育成

「他者の心情を想像し、理解して行動できる。」という目標を「あいさつ」と「はきもの」に絞って取り組み、誰が見ても成果が分かるような手立てを行う。様々な場面で価値付けと評価を行い、自己有用感を高めていく。

3 健やかな体の育成

課題のあった筋力や瞬発力に効果がある外遊びを奨励したり、保健学習等を中心にして姿勢について指導していく。また、基本的な生活習慣(早寝・早起き等)やメディアコントロールの取組も、家庭と連携して、継続指導する。

※ ご家庭でも、家庭学習や基本的な生活習慣など、学校と連携して取り組んでいきましょう。